

希土類会議
満員の第3回マテリアル・
トレイディング

希土類(レアアース)・レアメタル商社のマテリアル・トレイディング・カンパニー(本社〓東京都港区、小滝秀明社長)は21日、東京・港の田町カンファレンスセンターで第3回希土類会議シリーズを開催した〓写真。希土類関連企業から自動車メーカーや家電といった最終需要家まで約



100人が出席し会場は満員。需要が停滞する中でも、希土類に関

する注目度の高さがうかがえた。3回目のテーマは「いま、レアアースが牽引する日本経済再生」。日本の希土類業界の置かれてある現状を見つめ直し、注目される新技術の開発動向と新時代への提言など、3本の講演プログラムを組んだ。

講演したのは経済産業省製造産業局希有金属属室長・井上幹邦氏。「レアアース産業に関する現状」、日本原子力研究開発機構原子力基礎工学研究部門研究主席・長縄弘親氏「エマルションフロー法と新規抽出剤による希土類の回収・リサイクル技術」、インターメタルックス最高技術顧問・佐川真人氏「希土類化合物とともに30有余年」。